

内閣府における EBPMの取組について

令和8年9月18日



内閣府

令和8年度内閣府本府におけるEBPM取組方針(概要)

「令和8年度内閣府本府におけるEBPM取組方針」(令和8年4月15日内閣府本府EBPM推進チーム決定)に基づき、以下の取組を実施。1. ～4. のとおり施策の立案や改善にEBPMを取り入れ、また5. のとおりEBPM人材の育成を図っている。

1. 予算要求における取組

- 各部局は、現行の施策ありきでなく、現状や課題を分析し、政策効果を高めるための検討を行う。行政事業レビューシート等を、政策立案や予算要求という将来に向けての「意思決定」の一環として積極的に活用するなどEBPMの実践を図る。
- 行政事業レビュー推進チームにおいて、より効果的な事業への改善につなげるために各事業の品質管理を行う。

2. 政策評価における取組

- 施策を担当する各部局は、「政策評価ロジックモデル」を作成し、施策の課題設定・目標設定、施策と事務事業との対応、効果の測定等を整理する。

3. 規制における取組

- 規制の立案・改善に当たり、各部局において、ロジックの明確化、費用や効果の定量的な把握・分析、代替案との比較などを行う。

4. 税制改正等における取組

- 各部局は、税制改正プロセスにおける税制当局への説明の際、EBPMの手法を活用し、客観的なデータに基づき、税制措置の効果を立証する。

5. 人材育成等の取組

- EBPM推進室等は、EBPMの実践に資するよう、職員の理解と活用を促進するため、有識者による講習や研修等を実施する。人事評価においてEBPM推進に係る取組を勘案するよう周知する。

内閣府におけるEBPM人材育成の取組

1. 研修等の実施

① EBPM講習

- 有識者の高木麻美氏(EY新日本有限責任監査法人)を講師とし、府内向けの講習を年2回程度実施。
 - 若手職員や出向者などEBPM関連業務未経験者を中心に、EBPMの基礎からレビューシートへの活用までの概要を講習

② EBPM研修

- 府内全職員を対象としたEBPM研修(オンデマンド)を実施。
 - データ特性や基本的な分析手法を理解し、白書執筆など実際の業務におけるEBPMの実装に向けた、各職員によるオンデマンド形式の研修

③ EBPMワークショップ

- 有識者2名との意見交換を通じた、行政事業レビューシート改善のためのワークショップを年2回開催。
 - 行政事業レビューシートの作成に悩みを抱える部局を対象とし、ロジックモデルの改善など前向きなブラッシュアップに向けたワークショップ

※このほか、EBPMの取組推進に向け、職員がいつでも参照できるよう、内閣府ポータルサイト等においてEBPMガイドブックをはじめとする各種関係資料等の情報提供を実施。

2. 行政事業レビュー優良事例表彰

- 毎年度、行政事業レビューシートの中から特に優れた改善を実施した事例について、官房長による表彰・府内への横展開を実施。
- 令和7年度以降、人材育成も目的に、府内から若手職員を募り、選考チームを編成して選考作業を実施。

1. 研修等の実施(EBPM講習・EBPM研修)

①EBPM講習

- 有識者に講師を依頼し、府内向けの講習を年2回程度実施。
- 第1回は、基礎編として、EBPM基礎知識、レビューシート作成にあたっての考え方を内容とし、
- 第2回は、応用編として、レビューシートの具体的な改善事例等を紹介。
- 若手職員や出向者など、EBPM関連業務の経験がない職員をはじめ多くの者が参加。

- ・ 形式:オンライン
- ・ 対象:内閣府全職員
- ・ 参加者数:約50名
- ・ 講師: EY新日本有限責任監査法人 高木麻美氏
- ・ 直近開催:①令和8年4月 (基礎編)、②令和8年2月(応用編)



②EBPM研修

- 府内全職員を対象としたEBPM研修(オンデマンド)を実施。
- 1回あたり平均70分程度、計7回の講義でEBPMやデータの特徴の理解から、重回帰分析など基本的な分析までが可能となる実践的な内容。
- EBPMの理解や分析手法がきちんと身についているか確かめる修了確認テストも用意。
- 経済財政部局や白書執筆担当課などの企画官以下は「必修者」。

- ・ 形式:オンデマンド
- ・ 対象・期間:内閣府全職員対象・通年募集
- ・ 参加者数:令和4～7年度延べ 約960名
- ・ 講師:東京大学経済学部教授 川口 大司 氏



1. 研修等の実施(EBPMワークショップ)

③EBPMワークショップ

- 毎年度2回、行政事業レビューシート等のブラッシュアップのため、レビューシート作成部局(2部局程度)とEBPM有識者2名によるワークショップを開催。
 - 事前に、過去の有識者点検コメント等を踏まえ、ワークショップで有識者に相談したい「お悩みポイント」を整理するとともに、改善の方向性について部局案を検討。
 - ワorkshop当日は、事前に整理した内容を踏まえて、部局より事業について説明し、有識者からEBPM的観点からの助言をいただきながら、レビューシート改善などに関して意見交換を実施。
 - 過去のワークショップでは、短期・長期アウトカムのみ設定していた事業について、「アウトカムに飛躍がある」との指摘を受け、講師の助言をもとに、中期アウトカムを新たに設定、あわせて短期・長期アウトカムも見直し、アウトカムのつながりを明確化した事例等がある。
-
- ・ 形式:対面
 - ・ 対象:府内部局
 - ・ 講師:EY新日本有限責任監査法人 高木 麻美 氏
株式会社三菱UFJリサーチ&コンサルティング 中村 圭氏
 - ・ 直近開催:①令和8年5月 政策統括官(沖縄担当)、北方対策本部が参加
②令和8年2月 地方創生推進事務局、沖縄振興局が参加

(参考)EBPMに関する情報提供の例

内閣府本府におけるEBPMの取組推進に向け、職員がいつでも参照できるよう、各種情報提供を実施。

EBPM推進室

政府におけるEBPMの推進

- 今後のEBPM取組方針（令和8年2月17日EBPM推進委員会決定）
- 政府の行政改革 - EBPMの推進（内閣官房HP）

（内閣官房行政改革・効率化推進事務局 作成資料）

◆EBPMガイドブック

- EBPMガイドブック

EBPMの基本的な考え方や、機動的で柔軟な見直しを可能とする政策形成・評価の実践を普及・浸透させるための基本解説書

◆行政事業レビューシート作成ガイドブック

- 行政事業レビューシート作成ガイドブック
- 別冊1 基金シート作成ガイドブック
- 別冊2 行政事業レビューシート・基金シート改善のヒント
- 別冊3 行政事業レビューにおける自己点検のポイント

行政事業レビューシート及び基金シート作成にあたり、基礎的なEBPMを実践するための考え方・具体的な方法等について記載されたガイドブック

◆行政事業レビューシート 政策効果の測定と点検・改善のポイント～アクティビティの特徴に応じた実践集～

- 行政事業レビューシート 政策効果の測定と点検・改善のポイント～アクティビティの特徴に応じた実践集～
- 行政事業レビューシートの事例を基に、各政策担当者が政策を検討する上での一助となるように具体的な方法や考え方の参考となる実践集

内閣府行政事業レビュー優良事例表彰

- 内閣府行政事業レビュー優良事例表彰について

これまでの表彰部局

- 令和7年度：政策統括官（防災担当）
- 令和6年度：政策統括官（沖縄政策担当）
- 令和5年度：男女共同参画局

内閣府ポータルサイトでの一覧性のある情報提供

※お役立ち資料集※

行政事業レビューシートの作成にあたっての参照資料

令和8年4月作成
大臣官房企画調整課EBPM推進室

- レビューシートの以下の各項目について、EBPMの観点から、内閣官房行革事務局作成のガイドブック等のうち、特に参照すべき資料と該当ページを記載しています。

レビューシートの項目		参照資料			
		行政事業レビューシート作成ガイドブック	別冊3 自己点検のポイント	アクティビティの特徴に応じた実践集	EBPMガイドブック
資料掲載リンク（行革HP）		https://www.gyokaku.go.jp/ebpm/img/2072sbuses-guidebook_ver1-1.pdf	https://www.gyokaku.go.jp/ebpm/img/guidebook_bessatsu3_ver1-1.pdf	https://www.gyokaku.go.jp/ebpm/img/siryou5.pdf	https://www.gyokaku.go.jp/ebpm/img/guidebook1.2_230403.pdf
基本情報					
概要・目的		pp.44～46 (pp.26～27) (p33)	p15		(pp.62～66)
効果発現経路					
アクティビティ活動・成果目標等		pp.47～55	p16	事業類型ごとに以下のページを参照 ＜実施方法＞ 補助金・交付金 14 拠出金・分担金 21 ＜アクティビティ＞ 1. 広報・普及啓発 25 2. 研修・人材育成 31 3. 調査事業 39 4. 研究開発 44 5. 実証事業 51 6. 窓口・相談 57 7. 審査・検査（法執行） 64 8. 監督・監視・防止（法執行） 72 9. 設備導入・物品購入・修繕 79 10. 施設整備 85	(pp.62～66)
点検・評価					
事業所管部局による点検・改善 所見を踏まえた改善点			pp.18～19		

レビューシート作成にあたっての参照資料の周知

2. 行政事業レビュー優良事例表彰について

①取組概要

- 令和5年度より「行政事業レビュー実施要領」において、各府省庁は、職員の意識改革を促すため、優れた取組を優良事例として選定・表彰し、府省庁内に普及させていくこととされた。
- 内閣府でも、レビューシートの中から特に優れた改善を実施した事例について、官房長による表彰及び府内への横展開(内閣府本府幹部会での報告、ポータルサイトへの掲載、内閣府HPへの掲載等)を実施。
- 令和7年度より、EBPM人材の育成も目的とし、新たな取組として府内若手職員による選考チーム（以下「選考チーム」）を編成して実施しており、選考作業を通じてEBPMに関する深い知見が身に着くことが期待される。
- 有識者※の御意見も踏まえ、優良事例候補を選考している。

※有識者は以下のとおり。

令和8年度

南島 和久氏(龍谷大学政策学部教授、行政事業レビュー外部有識者会合座長)

中村 圭 氏(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

高木 麻美氏(EY新日本有限責任監査法人FAAS事業部)

2. 行政事業レビュー優良事例表彰について

②EBPM人材育成

【令和8年度の取組】

- 8年度選考チームのメンバーには、各部局の若手職員6名（補佐級1名、係長級1名、係員級4名）が自主的に参加。参加者は選考業務を「本務」として活動できることとし、その活動状況は人事評価にも考慮されることとしている。
- 打合せにはEBPM有識者に検討チームのメンターとして参画いただき、複数回の打ち合わせの場などを通じ、EBPMの観点からご指導いただく。チームメンバーにとって知見を深める場ともなる。
- メンターのアドバイスも受けつつ、検討チームとして表彰候補を選出。選考委員との議論により順位付け。

<選考プロセス>

- (1) メンター・選考チーム打合せ(7月23日)
選考基準の決定、作業分担等
- (2) 候補案選考
選考チームにおいて、基準に基づき1名約20事業を評価、候補案を選考
- (3) メンター・選考チーム打合せ(8月18日)
各自、候補案を選考理由とともに発表。メンターよりEBPM的観点からのサポートを受けつつ議論
- (4) メンター・選考チーム打合せ(8月21日)
(2)・(3)を踏まえて選考チームとして6事業に絞り込み
- (5) 選考委員(有識者)を交えた選定(9月10日)
選考委員に対し、選考チームより絞り込んだ候補案をプレゼン。選考委員と議論の上順位付け。



【メンター・選考チームによる打合せの様子】

2. 行政事業レビュー優良事例表彰について

3. 令和7年度表彰事例について

1)事業名 防災に関する普及・啓発に必要な経費(詳細は次ページ)

担当部局:政策統括官(防災担当)付参事官(普及・防災教育・NPOボランティア連携担当)

2)主な選定理由

- 事業の対象者と、対応するアクティビティ、アウトカム(目指すゴール)が構造化されており、ロジックモデルが一定程度整理されている。3つのアクティビティが事業内容をしっかり網羅しており、バランスが良い。
- 企画展開催回数や研修参加自治体数など、活動状況を測定可能な指標が複数設定されている。
- 成果指標が目的に沿って定量的に丁寧に設定されている。特に「TEAM防災ジャパン」のアクティビティについて、利用者の満足度にとどまらず、防災行動実践者までを捕捉する指標となっている。
- アンケート結果や閲覧数の増加などを踏まえたアウトカム目標値の検討・設定など改善が行われており、予算執行の工夫も含めてPDCAが機能している。



【表彰式の様子】

防災に関する普及・啓発に必要な経費

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、自助・共助の重要性を踏まえた防災力向上を目指すことを目的として行う以下の事業(事業開始:昭和57年度、令和6年度予算※ 10.7億円)。

※令和6年度当初予算、令和6年度補正予算、前年度繰越の計

■ ロジックモデル

